

監査報告(要旨)

泉 喜久男
柳澤 治

平成23年度決算審査の結論は、「一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書並びに付属書類の係数は正確であり、予算の執行等についても適正に処理されているものと認められた」。

【決算審査の所感】

○危機管理

災害等の緊急時における町長との連絡体制について、東日本大震災の経験を踏まえトランシーバーや衛星電話等の活用についての検討をお願いした。

○不作為の作為

これまでの行政への不満・批判は実行された行政行為が対象になっていた。しかし、3・11以降は安全対策や災害対策に意を十分に払わなかった(不作為)ことについて責任を追及されることが少なくない。今は今まで以上に児童・生

徒を始めとする町民への事前の安全と防災対策についての認識・要望・議論があってもよいのではないかと問題を提起した。

○政教分離

宗教行為に類似するものに関わる補助金や負担金等の支出について憲法の規定もあり特段の配慮が必要である旨の注意を喚起した。

○政策法務

条例規則等を策定する場合には、他市町村等の事例を丸のみすることなく当時の現実と照合し、法令用語に留意しつつ遺漏のない文案づくりに努めるよう要請した。

○正当債権者

会計管理者は債務の支払は正当債権者へ行うことになつてはいるが、正当債権者か否かの判断は起案担当者が一時的に責任を持つべきで、会計管理者に過度の負

担をかけないよう要望した。

○公平の原則

現実社会では公平に課税しても公平に納税されるとは限らない。適正な納税者に比較し滞納者はより多くの滞納整理というコストのかかる行政サービスを受けており、それこそ公平の原則にもとるのではないか。今後も困難を乗り越え、「公平の原則」の確保にさらなる業務努力を期待する旨を申し上げた。

最後に、職員一同に情熱をもって仕事に取組み、その仕事の遂行には責任感を常に抱き、さらには、町民の為という自我を超えた奉仕の精神を第一に日々の業務に邁進するよう要望した。

請願・陳情審議結果

請願・陳情	請願・陳情者	請願紹介議員	審議結果
御代田町環境保全条例及び御代田町環境保全条例施行規則並びに御代田町開発指導要綱見直しに関する請願	軽井沢不動産協会 会長 市村孝雄 長野県宅地建物取引業協会 佐久支部長 清水純一郎	武井 武	継続審査
「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願	御代田町教職員組合 代表 近藤 克也	野元 三夫	採 択 (意見書を提出)
新教職員定数改善計画の着実な実現と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願	御代田町教職員組合 代表 近藤 克也	野元 三夫	採 択 (意見書を提出)
国立病院と地域医療の充実を求める陳情	全医労小諸高原病院支部 支部長 山下 弥	—	採 択 (意見書を提出)

一 般 質 問

質問議員 7名

古越日里
野元三夫
市村千恵子

池田健一郎
古越弘

東口重信
小井土哲雄

質問事項（本号掲載以外のもの）

- 御代田町生涯学習基本構想について…古越日里
- いじめによる自殺問題について…池田健一郎
- 環境整備（草刈り）について…東口重信
- 交通弱者に優しい町づくりを…野元三夫
- 小規模農地基盤整備について…古越弘

農産物価格低迷の救済は

融資要綱に基づき考える

古越日里 議員



問 2011年は3月11日の原発事故の放射能漏れによる風評被害で、全国的に桃や葉菜類をはじめ農産物価格が低迷した。

今後も消費は増えず、農産物価格が低いままで農家の経営を圧迫していくと思われる。町農業の救済について問う。

産業経済課長 平成17年に野菜の価格低迷が続ぎ、佐久浅間農協が低利融資を実施した。町は18年3月に農家経営支援特別資金融資利子補給交付要綱を定め、利子補給を行った。

直近では、平成21年に33件、融資額1億540万円。残高に対し利子補給率0.75%償還期間は5年である。

このほかに農地取得、農業施設整備、負債整理など農業経営基盤強化資金の利子補給をしている。

長野県野菜生産安定基金が交付する補給金制度が、昭和42年から国・県の負担に農家負担もあり、農家の負担率の軽減を図るため、町が定額補助を平成20年度から実施し、今年度は予算額で300万円の補助を予定している。

遊休農地防止とレタスの連作障害対策で、ソバ種子無料配布、販売量に単価補助、廃プラ運搬補助、有害鳥獣補助など実施している。

今年の野菜の価格低迷がそのまま推移すれば、佐久浅間農協が農家経営支援特別資金融資を準備している。町も融資要綱に基づき考えている。



廃棄された白菜